

図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議（第2回）

図書館・学校図書館におけるデジタル活用 の概況と今後の運営充実に向けて — 電子図書館・電子書籍サービスの導入状況を中心に —

2025年1月23日

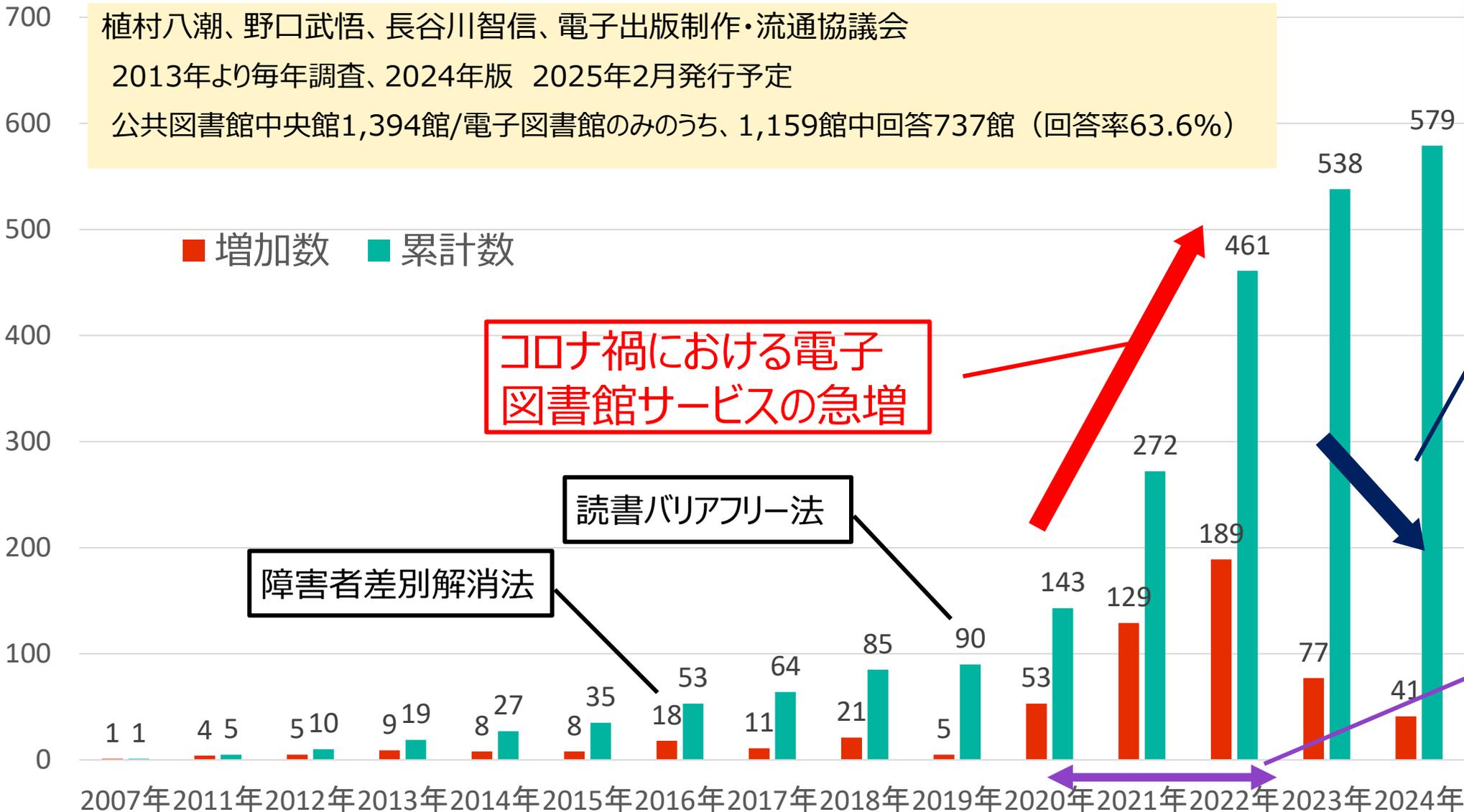
植村八潮

専修大学 文学部 ジャーナリズム学科

yashio@isc.senshu-u.ac.jp

1. 公共図書館と学校図書館における電子図書館・電子書籍サービスの導入状況と課題

電子図書館・電子書籍サービス調査2024 (速報)



電子図書館導入率

2024年10月1日 579自治体、459電子図書館

内容	電子書籍サービス導入数	導入率
電子図書館導入自治体比率	579/1,788 (単位:自治体)	32.4%
都道府県導入率	28/47 (単位:自治体)	59.6%
政令市導入率	18/20 (単位:自治体)	90.0%
特別区導入率	18/23 (単位:自治体)	78.3%
市導入率	354/772 (単位:自治体)	45.9%
町導入率	113/743 (単位:自治体)	15.2%
村導入率	48/183 (単位:自治体)	26.2%
電子図書館利用可能基礎自治体 人口比率	8,288/12,614 (万人)	65.7%
全図書館数に対する電子図書館利用可能比率	1,682/3,305 (図書館数)	50.9%
図書館非設置自治体の電子図書館導入率	47/394 (自治体)	11.9%

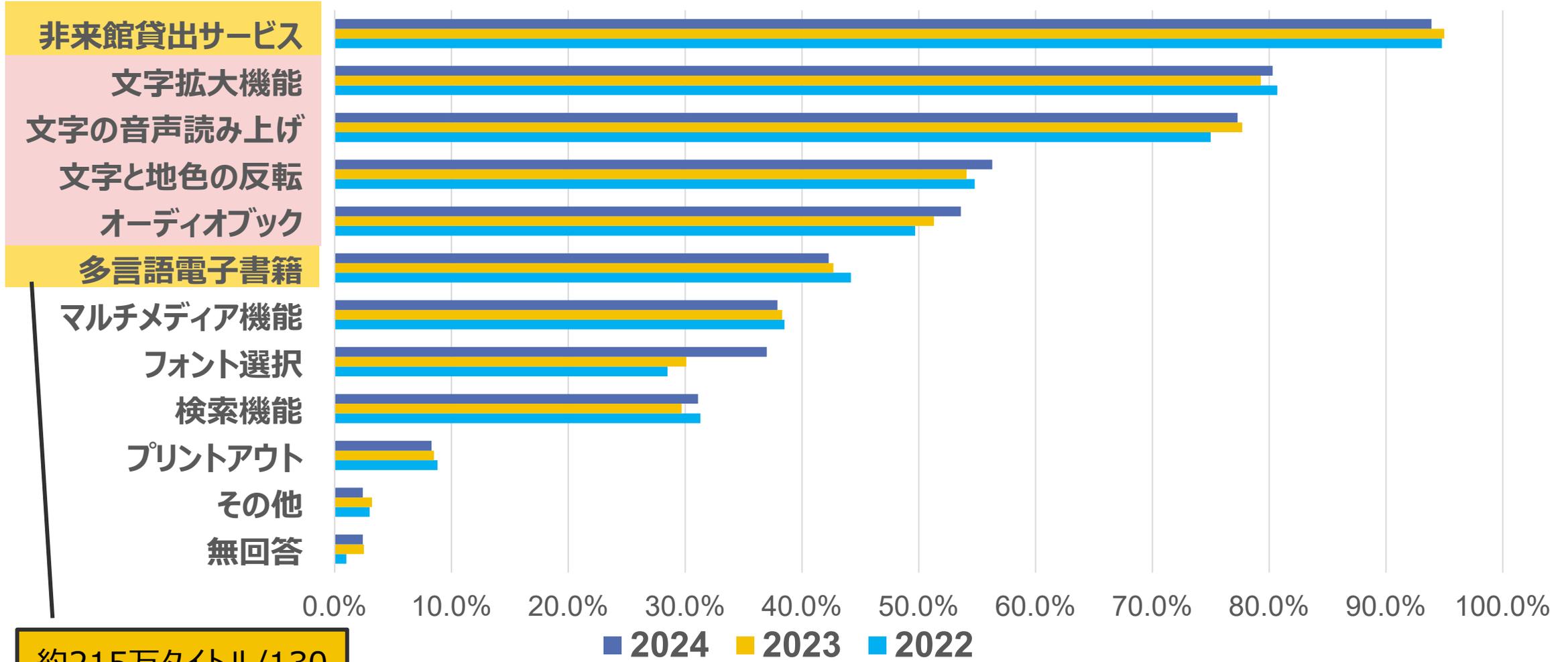
広域電子図書館（町村立図書館の導入促進）

広域電子図書館名	実施自治体	開始時期
播磨科学公園都市圏域定住自立圏電子図書館	兵庫県（たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町）	2018年01月
きくち圏域電子図書館	熊本県（菊池市、大津町、菊陽町、合志市）	2020年12月
たまな圏域電子図書館	熊本県（玉名市、玉東町、和水町、南関町）	2021年07月
ありあけ圏域電子図書館	福岡県（大牟田市、柳川市、みやま市）、熊本県（長洲町）	2022年05月
デジとしよ信州	長野県（全78自治体）	2022年08月
比企広域電子図書館 比企eライブラリ	埼玉県（東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、ときがわ町）	2022年09月
ミライon図書館	長崎県（長崎県、大村市）	2023年03月
沖縄県 図書館未設置離島用電子書籍サービス	沖縄県（竹富町、与那国町、粟国村、渡嘉敷村、座間味村、伊江村、伊是名村、伊平屋村、北大東村、南大東村）	2023年03月
しあわせ電子図書館	福岡県（大野城市、粕屋町、志免町、新宮町）	2023年04月
遠賀郡広域電子図書館	福岡県（水巻町、岡垣町、遠賀町、芦屋町）	2023年12月
くるめ広域電子図書館	福岡県（久留米市、大川市、小都市、うきは市、大刀洗町、大木町）	2024年03月
つやまエリアデジタルライブラリー	岡山県（津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久留米南町、美咲町）	2024年07月
電子図書サービス おうちデジタルライブラリー	岡山県（高梁市、美咲町、吉備中央町）	2024年07月

出所：『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2024』

電子図書館の利用者メリット

→電子ならではの！

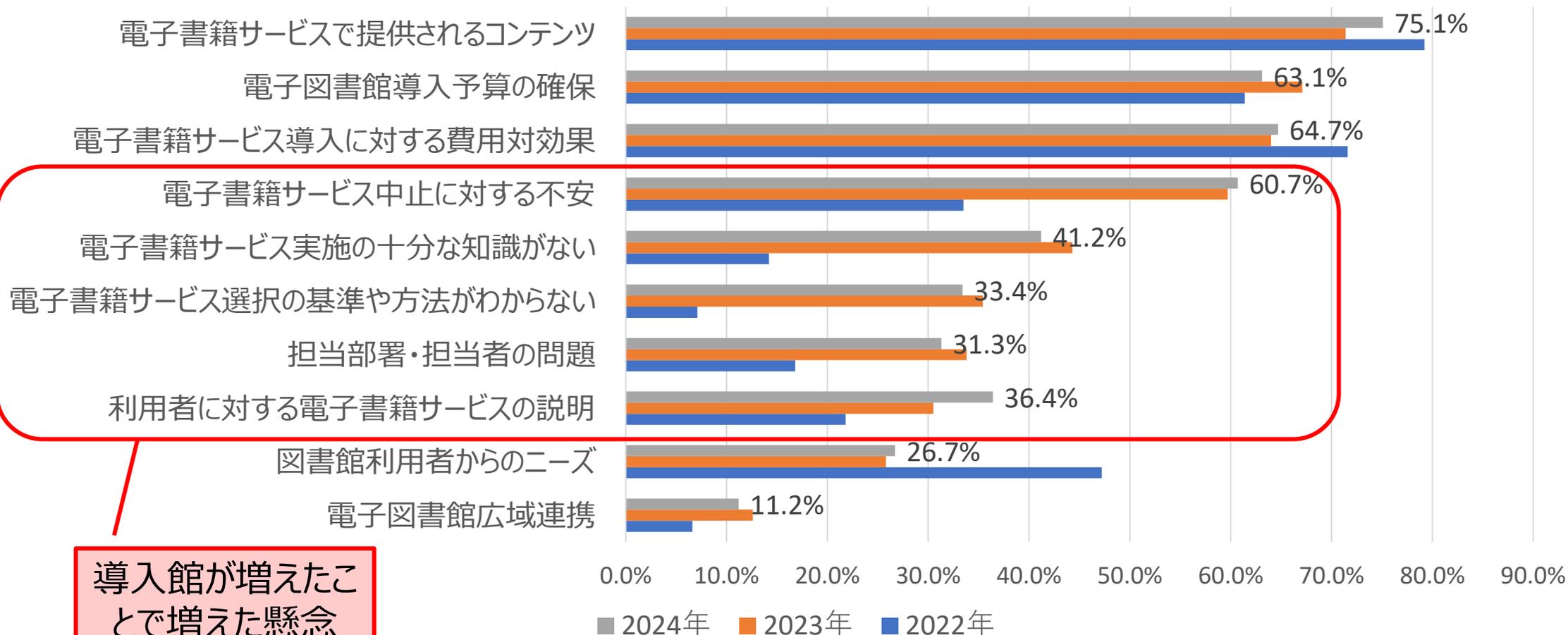


約215万タイトル/130
言語 TRC-DL

出所：『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2024』

導入館におけるサービスの懸念

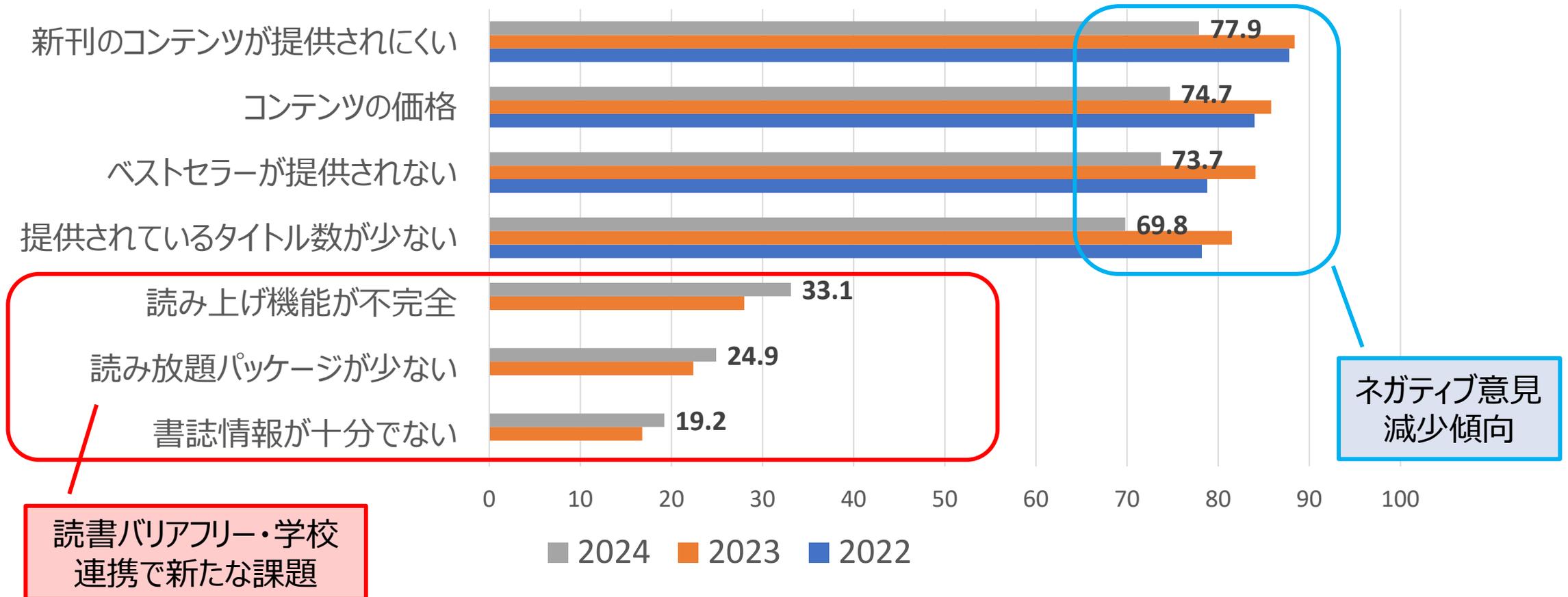
→知識不足



出所：『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2024』

導入館におけるコンテンツの課題

ネガからポジ意見へ



希望分野：文芸書・小説85.2%

伸びた分野：児童書・絵本68.4%、図鑑・年鑑46.4% 若年層向けコンテンツ

利用実績の多い世代:12歳未満 30.2%と12～19歳の利用が増える

「電子図書館サービス」の管理メリット

	2023	2024
図書館サービスのアクセシビリティ対応	84.3%	82.3%
貸出・返却・予約業務の自動化	77.5%	78.8%
汚破損・紛失の回避	73.6%	72.7%
書架スペース問題の解消	53.7%	53.5%
その他	8.3%	6.9%
無回答	2.5%	2.3%

出所：『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2024』

貸出自動化機能、汚破損回避に対するメリットが認知されている

→ **コスト削減**

→ **貸出率は、紙の図書より高くなる(延滞期間が発生しない)**

事業者別提供コンテンツ数2024

2割程度の被り
25万タイトル

事業者	2019	2020	2021	2022	2023	2024
図書館流通センター	74,000	85,000	98,000 洋170万	118,000 洋175万	135,000 洋191万	162,000 洋215万
メディアドゥ	31,000	44,260	47,306 洋366万	66,000 洋396万	84,000 洋427万	103,000 洋427万
丸善雄松堂	70,000	80,000	120,000	150,000	160,000	160,000
紀伊國屋書店	20,000	28,000	40,000	65,000	78,000	78,000
日本電子図書館サービス	52,000	61,000	74,000	108,900	135,000	135,000

出所：『電子図書館・電子書籍サービス調査報告2024』
TRC-DLは2024年11月現在

電子書籍 契約/貸出タイトル数 貸出率 2024

貸出タイトル数 (平均) 2022年 14,428 2023年 27,054 2024年 **34,263**

契約タイトル数 (平均) 2022年 6,991 2023年 7,654 2024年 **7,703**

貸出率は、紙より電子が高い

2.06倍

3.53倍

4.45倍

タイトル数	2022	/185	2023	/302	2024	/332
10,000以上	38	20.5%	104	34.4%	112	33.7%
5,000～10,000未満	55	29.7%	54	17.9%	55	16.6%
1,000～5,000未満	77	41.6%	123	40.7%	141	42.5%
500～1,000未満	7	3.8%	13	4.3%	15	4.5%
500未満	8	4.3%	8	2.6%	9	2.7%
合計	185		302		332	

文部科学省「1人1台端末環境下における学校図書館の積極的な活用及び公立図書館の電子書籍貸出サービスとの連携について（事務連絡）」 （2022年8月）

文科省総合教育政策局と初等中等教育局が、各都道府県・指定都市図書館・学校図書館担当課長等宛てに連絡

- 「GIGAスクール構想」により、児童生徒の1人1台端末等の ICT 環境を活用した新しい学びが全国各地で開始。学習活動の充実のため、「**学習センター**」や「**情報センター**」としての**学校図書館の積極的な利活用**を求める。
- 公立図書館との関わりについて、**学校の児童生徒に対し公立図書館の電子書籍貸出サービスのIDを一括で発行している事例**として大阪府東大阪市「ひがしおおさか電子図書館」と北海道帯広市「帯広市電子図書館」を紹介

これがきっかけとなって学校連携・導入が広がりつつある

学校連携実施自治体（TRC-DL）：約30（2022/11）→132（2024/7）増加

（OverDrive）：約20自治体/ 60自治体（2025/1）

学校図書館導入実績（TRC-DL）：57校（公立小・中・高13）（OverDrive）約30校

たちかわ電子図書館：児童生徒の利用

2021年1月開始

・開始当初は4000点/月の利用があったが、次第に減少、3000点台で推移。30～50代の利用

2022年9月中旬

・「学校用たちかわ電子図書館利用カード」を小中学校に配布し、全児童・生徒が利用できる

・直ちに利用が伸び、10月は13000点台の利用

・小中学生が8割を占める

2024年実績（貸出／蔵書）

実図書館 1.5

電子図書館 貸出 9.9，閲覧 29.2

→小中学生の来館への誘導

電子書籍を楽しもう！ テキスト版サイトへ こどもむけ「たちかわでんしとしょかん」のつかいかた

たちかわ電子図書館 Tachikawa Digital Library

文字の大きさ 大 中 小 背景と文字の色 黒 白 黄

ご利用ガイド

トップ お知らせ 新着資料 貸出ランキング 特集 よみほうだい 読み放題 マイページ

ログイン

利用者ID

パスワード

ログインする

ジャンルで探す

谷重治文庫（児童書読み放題）

TACHIHI presents 児童書読み放題

読み放題（児童書）

谷重治文庫

コトブキヤ・プレゼント

TACHIHI presents

【PCの方はこちら】 TACHIHI presents

資料を探す フリーワード検索 検索 + 詳細検索

のとはんとうじしんひさいしゃえん 能登半島地震被災者支援

輪島市の子どもたちに 読書の楽しみをプレゼント

お知らせ

2024年3月15日 輪島市（おこしまし）の小学生（しょうがくせい）・中学生（ちゅうう…

2025年1月1日 76点の新着コンテンツが入りました！

2024年12月1日 「谷重治文庫」に、218点のコンテンツが入りました！

お知らせをもっと見る

たちかわ電子図書館では市内の企業、社会奉仕団体、個人から電子書籍コンテンツを寄贈していただき、特色のある電子書籍を揃えています。特に、児童書の読み放題を953点提供しており、子どもの読書活動推進に力を入れています。

愛知県・日進市の取り組み

2022年10月12日から
2023年1月10日まで、小中
学生向けの図鑑の電子書籍
導入のためのクラウドファン
ディングを実施。中学校図書
委員からの要望を受けたこと
がきっかけ。

目標金額：2,920,000円
寄付金額：4,085,000円
(139.8%)

R5「デジタル田園都市国家
構想交付金」での申請/採択

The screenshot shows the homepage of the Nissin School E-Library. At the top, there is a navigation bar with links for 'トップ', 'お知らせ', '新着資料', '貸出ランキング', '特集', '読み放題', and 'マイページ'. Below this is a search bar with the text '資料を探す' and 'フリーワード検索'. The main content area features a large banner for the library with the text 'にっしん学校電子図書館' and '令和5年度寄付金活用事業'. Below the banner is a section for 'お知らせ' (News) with three items dated from 2024年3月19日 to 2024年4月11日. To the right of the news is a '新着資料' (New Arrivals) section displaying five book covers with their respective ranks: Silver Rank, Gold Rank, Sapphire Rank, Ruby Rank, and Diamond Rank. Each book cover includes the title 'Book Reading Quest' and the 'eステKids/' logo. At the bottom of the page, there are links for 'Windows' and 'Mac' for each book.

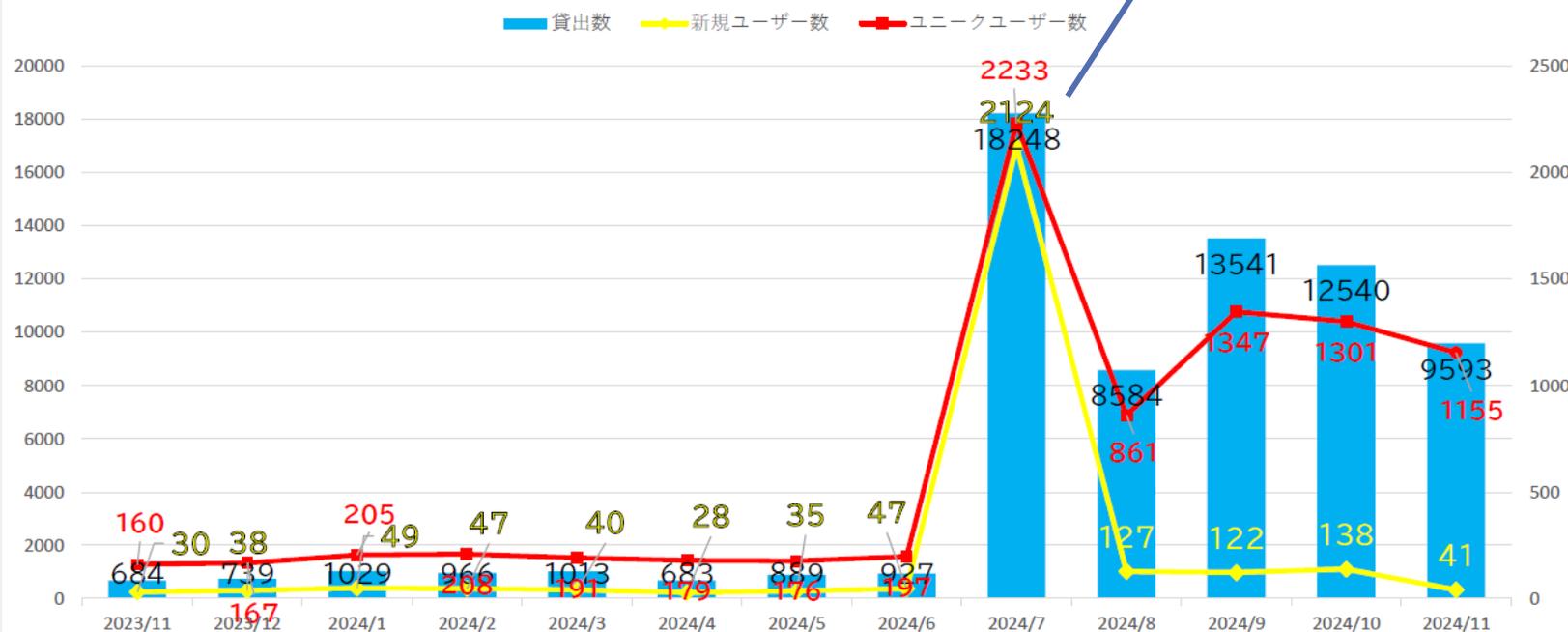
学校連携で利用が伸びた例：A市図書館

学校連携で
利用が急増

人口：約7万人強
ID発行数：約3万

学校連携前
貸出率：5倍前後
学校連携後
貸出率：8~10倍

■ 利用推移（2023年11月-2024年11月）



年月	2023/11	2023/12	2024/1	2024/2	2024/3	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11
貸出数	684	739	1029	966	1013	683	889	927	18248	8584	13541	12540	9593
新規ユーザー数	30	38	49	47	40	28	35	47	2124	127	122	138	41
ユニークユーザー数	160	167	205	208	191	179	176	197	2233	861	1347	1301	1155

ID総作成数:30,786

2. 今後の運営充実に向けて求められること

電子書籍「資料収集方針」 紙と電子の使い分け

公共図書館回答例

基本的には、**紙媒体の一般書や児童書の選定基準を踏まえた上で**、以下のような電子書籍の特性を活用できるものを選定する。

- 視覚障がい者や高齢者の読書を支援するため、**文字の拡大や読み上げ機能がついた資料**は積極的に収集（**読書バリアフリー対応**）
- **情報の変化が激しい実用書、年度版**は有期限ライセンスでの購入を優先
- 文学書や歴史書、趣味に関する資料等は、**買い切り型ライセンスでの購入**
- 「児童書の選定基準」で収集しないこととしている**学習参考書・各種問題集**について、電子書籍においては、**書き込みの恐れがないため、購入を可とする**

電子図書館「読み放題パック」による効果 大阪府B市

B市電子図書館の関係者コメント

「読み放題パック」実績（24週）、契約費用：約43万円

電子書籍の閲覧 ベスト30の書籍単価×閲覧数（高い貸出率）約4300万円（100倍）

紙書籍の貸出 ベスト30の書籍単価×24（週に1回として） 約200万円

この試算は、「広がり」のバロメーターを図るものとしては有効だが、「深さ」は紙の本の貸し出しほどではないであろう。しかし、**これだけの拡散力は従来の紙の本による閲覧や貸出では考えられない単位であり、多くの子どもに読書を勧める手法として抜群の効果を期待**できる。

電子図書館「読み放題パック」による効果 埼玉県C市

C市電子図書館の関係者コメント

電子書籍は手軽さが売りで、紙書籍とは単純に比較できないが、児童・生徒に貸与されている一人一台タブレットを通して、**紙書籍では到底ありえない進度で普及・拡散しており、これほど多くの子ども達が読書にいそしんでいる実態を鑑みるに、読書力向上に有能に機能している**と言えよう。

特に「児童書読み放題パック」は**費用対効果の面だけに限らず**、学習支援のほか、学校生活において適したコンテンツを豊富に取り揃えており、普及促進に欠かせないツールとなっている。

今後に向けて求められること

- ① **電子図書館による広域連携**：地域に根ざした市町村立・学校の連携
利用者ID/PWの管理、自治体内での役割分担
- ② 地域における**読書バリアフリーの拠点**：リアルな対応も重要
- ③ **コンテンツの充実**：良質なコンテンツによる「デジタル読書」の勧め
(不読者を中心に) 読書の習慣化：朝読、通学時間、家庭での利用
不読率が高まる前の対策：中学生への促進／中高連携教育
- ④ 「不登校生徒」、「特別支援生徒（学級・学校・普通）」へのデジタル活用
- ⑤ デジタル教材・デジタルアーカイブを活用した**教育ノウハウの蓄積と共有**
- ⑥ 学校（電子）図書館を**GIGAスクールの中心**におく「情報・学習センター」
- ⑦ **人材育成**：「デジタルに強い司書教諭」+「デジタルに強い学校司書」が組む

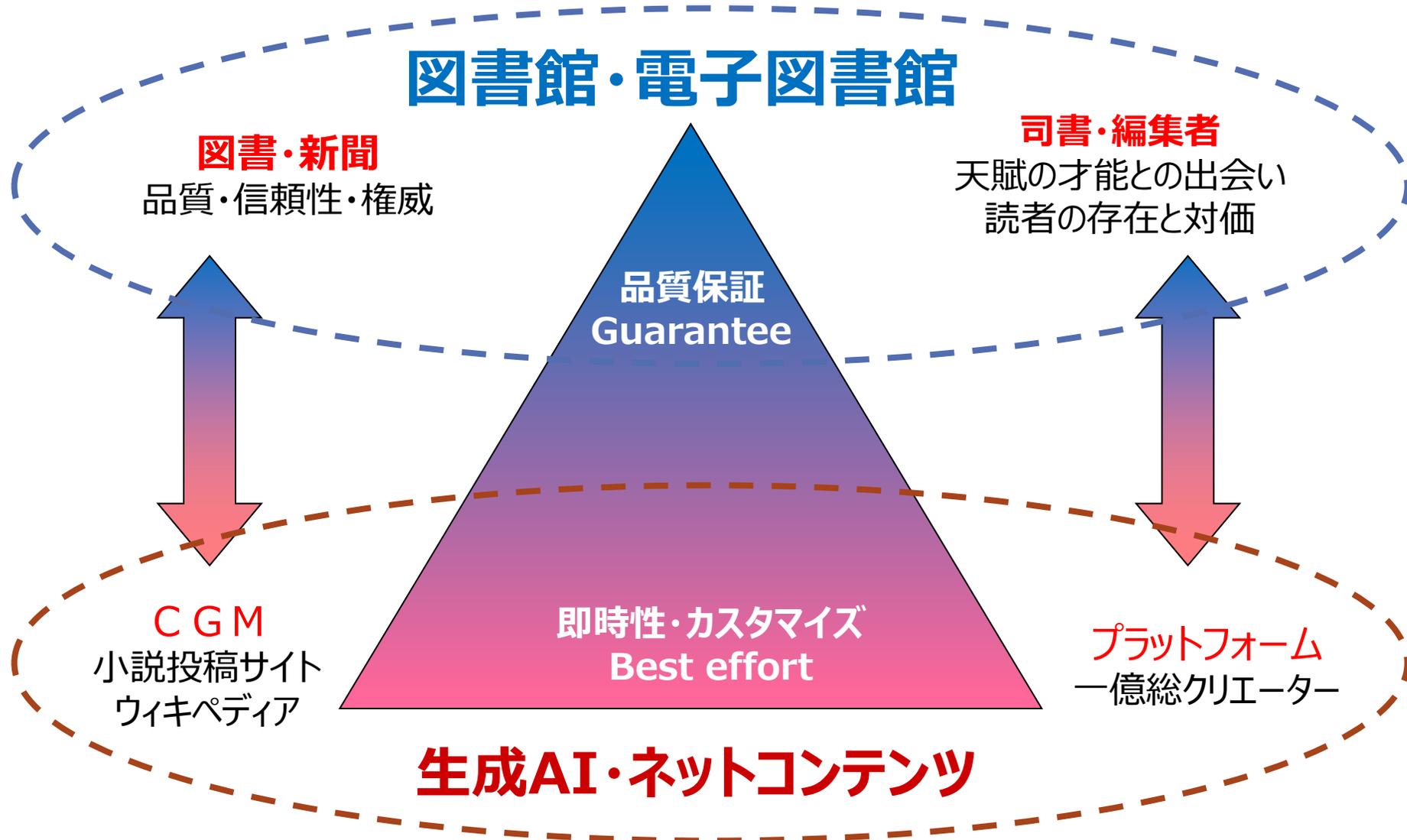
デジタル教育能力を持つ人材育成

「紙の本」原理主義から脱却：「紙の本を読むことが大事」なのか？

- 紙書籍の選択「愛着」情緒的価値→電子書籍の短所を指摘→利用しない
- 電子書籍の選択「便利（情報への関心）」機能的価値→長所を評価→利用
 - 岩崎邦彦・渡部和雄「紙書籍と電子書籍の“使い分け”に関する消費者分析」『日本印刷学会誌』58巻1号 pp.12-17, 2021

	アナログ能力（紙）		デジタル能力（電子）		総合力
学際研究 かけ算	2	+	0.4	=	2.4
	2	×	0.4	=	0.8

コンテンツと「信頼性」



ご清聴ありがとうございました